

議会だより

令和五年 富岡町 二十歳を祝う会

12月の
定例会

- ② こんなことが決まりました
12月定例会・12月臨時会
- ⑤ ズバリ!! 町政を問う
4議員が質問
- ⑩ 常任委員会報告
総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
- ⑭ 全員協議会報告
町の重点事業について徹底議論!!



富岡町議会の
ホームページはこちらから

晴れ着で祝う二十歳の門出 / (富岡町二十歳を祝う会)

一般会計 補正予算

各種事業の精査等による減額

《5億1,325万円を減額補正》

各種事業の精査等による減額計上により5億1,325万円の減額補正を行い、総額144億9,859万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
庁舎施設管理費(光熱水費)	500万円増
財政調整基金積立金	2億3,625万円減
福島再生加速化交付金基金積立金	1億2,000万円減
新型インフルエンザ等感染症対策事業費(委託料)	1,488万円増
農業農村振興施設管理事業費(維持管理工事費 他)	2,075万円減
営農再開支援事業(補助金 他)	3,451万円減
道路維持管理事業費(委託料 他)	2,130万円減
河川整備事業費(工事費)	2,900万円減
住宅維持補修費(工事費)	5,000万円減
その他	2,132万円減

議員が切り込め!! 質疑応答

【一般会計補正予算】
 問 庁舎施設管理費の光熱水費増額の詳細は。また、節電の取り組みは行っているか。(佐藤啓憲)

答 総務課長
 電気料金の高騰に伴う対応です。新電力への切り替えや、庁舎内や関係施設への啓発、冷暖房の設定等、節電の意識を持つて行っています。

問 営農再開支援事業について、農地の適正管理への対策は。(遠藤一善)

答 産業振興課長
 復興組合での除草作業に加え、今後はパトロールを行いながら、農業委員会の会長名において適正管理をお願いする文書の発送も検討しています。

問 枝葉の焼却についての線量管理と周知を。(宇佐神幸一・遠藤一善・堀本典明・渡辺三男)

答 生活環境課長
 線量が高く焼却できない可能



工事請負契約

【野菜集出荷施設建設工事】

双葉郡で生産されるタマネギの乾燥、選別、貯蔵機能を有する集出荷施設の建設工事について、可決しました。

(12月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和5年12月28日
- 金 額 21億9,670万円
- 契約相手方 北海道帯広市西十三条南14丁目1番地2 宮坂建設工業株式会社



野菜集出荷施設イメージ図

不動産の処分

【防災林事業に伴う不動産の処分】

福島県防災林整備事業に伴う不動産の売却について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 所 在 富岡町大字仏浜および毛萱地内
- 種 別 土地
- 地 積 8,660.07㎡
- 処分の方法 売却
- 処分予定価格 2,371万1,476円
- 契約相手方 福島県南相馬市 原町区錦町1丁目30番地 福島県相双農林事務所

【赤木地区基盤整備工事】

赤木地区基盤整備工事の金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 金 額 (変更前) 1億1,880万円 (変更後) 1億1,278万8,500円
- 変更理由 ・施工内容に変更が生じたため金額を変更。

【富岡町複合商業施設屋根改修工事】

富岡町複合商業施設(さくらモール)屋根改修工事の金額の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 金 額 (変更前) 1億9,635万円 (変更後) 2億645万6,800円
- 変更理由 ・施工内容に変更が生じたため金額を変更。



足場のかかったさくらモール

訂正とお詫び

令和4年10月21日発行の「とみおか議会だより212号」の記載について左記のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【P6】 固定資産評価審査委員会委員 誤 阿久津守雄さん 正 阿久津守雄さん

【P7】 一般会計歳入歳出決算の質疑応答部分 誤 福島森林再生事業 正 ふくしま森林再生事業

【P2・P17】 施設の利用開始時期の記載部分 誤 共用 正 供用



スバリ! 町政を問う



4 議員が質問

12月定例会の一般質問に4議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 安藤 正純 議員 6

- 中間指針の見直しについては
- 小良ヶ浜・深谷地区の除染解体は



2 渡辺 正道 議員 7

- パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度の導入に向けた検討を
- 富岡高校の今後についての考えは



3 渡辺 三男 議員 8

- 福島国際研究教育機構の立地選定の経緯は
- 拠点区域外の構想は



4 佐藤 教宏 議員 9

- 施設等の維持管理費を抑える方策は
- 区域外の土地建物の買上げについて



山本 育男 町長

岩崎 秀一 教育長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



定例会 審議議案一覧

令和4年第8回定例会で審議した議案とその結果

上 程 議 案 ・ 概 要		結 果
◆承認案件		
議案第66号	専決処分の報告及びその承認について (令和4年度富岡町一般会計補正予算(第4号))	全会一致 原案可決
◆条例の改廃案件		
議案第67号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	全会一致 原案可決
議案第77号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第78号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第79号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
◆補正予算案件		
議案第80号	令和4年度富岡町一般会計補正予算(第6号)	全会一致 原案可決
議案第73号 議案第81号	令和4年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)(第3号)	全会一致 原案可決 全会一致 原案可決
議案第74号 議案第82号	令和4年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算 (第4号)(第5号)	全会一致 原案可決 全会一致 原案可決
議案第83号	令和4年度富岡町曲田土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致 原案可決
議案第75号	令和4年度富岡町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	全会一致 原案可決
議案第76号 議案第84号	令和4年富岡町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)(第3号)	全会一致 原案可決 全会一致 原案可決
議案第85号	令和4年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致 原案可決
◆町道路線の認定等案件		
議案第71号	町道路線の認定、変更及び廃止について	全会一致 原案可決

※第8回定例会における「工事請負契約の変更」、「不動産の処分」、「令和4年度一般会計補正予算(追加議案を除く)」及び第9回臨時会における「工事請負契約」は別頁に詳細を掲載しております。各議案の内容については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。



渡辺 正道 議員

問 パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度の導入に向けた検討を

答 来年度実施に向けて進めたい

答 町長 「男女共同参画審議会」を開催し、委員の皆様には、昨今の社会情勢の変化に対応する取り組みの中で「交流人口・関係人口・定住人口の増加」に向けた「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」の導入についても検討をしていただきます。

問 移住の促進は町の重要課題と認識している。そこで共生社会・寛容な社会に向けた取り組み、ひいては交流人口・関係人口・定住人口の増加に向けた一つの取り組みとして、「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」の導入に向けた検討をすべきと考えるが町の考えは。

問 国際女性会議、通称「WAWI」の出席者が被災地を訪問したとの報道があった。原発の廃炉については世界中が注目している中、人権においても世界から注目されるような地域になると思うので、この制度を前向きに検討してもらいたい。

答 町長 福島県では導入ゼロという状況です。我々としてはこの制度を取り入れるべく、男女共同参画審議会にお諮りしながら、来年度実施に向けて進めたいと考えます。



休校となっている富岡高校

※WAWI（ワウイ）とは日本政府の最重要課題の1つであるジェンダー平等と女性のエンパワーメントを国内外で実現するための取り組みの一環として平成26年から開催している国際会議です。

問 中間指針の見直しについては

答 被害の実態が認められ歓迎

問 原賠審は令和4年11月10日、専門委員会からの最終報告を受けて中間指針を見直すの方針を決めたが、町は何を感じ取ったか。

答 町長 専門委員から精神的損害のうち長期避難に伴うふるさと喪失・変容に対する苦痛は現在の賠償には含まれず、新たに認めるべき損害であると結論づけました。また、現地視察において寄せられた被害者の声を可能な限り考慮すべきことや、対象者を狭めるべきではないといった発言があり、被災自治体が一貫して求めてきた精神的損害の増額要求が認められるのは、歓迎すべきと受け止めたところです。

答 住民課長 原賠審では論点整理され5項目示されていますが、当町に関係するのは3点、1点目は過酷避難状況、2点目は生活基盤を失った喪失と変容、3点目はADRで積み重ねた和解事例から身障者手帳・療育手帳・介護状態・妊娠されていた方等を類型化されるものについては、金額を提示する内容でかなりの増額見込みです。

問 原告として9年もの長い間頑張った中間指針を改定、次の第5次追補の道を切り開いてくれた方々へ、一言あれば。

答 住民課長 町はかねてから要望によって賠償を変えていくスタンスで取り組んできましたが、一方でそれは別に訴訟を持って取り組んでいく方がいます。口頭弁論で何度も積み重ねた議論を述べられ勝ち取ってきたものと理解しています。8月末に避難者の方々が住民の声を原

賠審に伝える場面でも町は立ち会っています。非常にご苦労され風穴を開けていただいたという認識です。

問 中間指針の見直しにより第5次追補が発表され、高裁決定より著しく低額である場合には、町が先頭に立ち中心的な役割を果たすことを期待しているが。

答 住民課長 ADRは3か月の中で和解を出すという早期解決に目的が置かれているので、和解案が出て何年も応じないのであれば、向いています。町としてはNDF（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）の相談会について町民の皆さんに内容をお知らせする場面を多く作って行きたい考えです。



問 小良ヶ浜・深谷地区の除染解体は

答 100%目指し国と対峙する

問 残り1〜2%の小良ヶ浜・深谷地区の除染解体を国に特例として認めてもらうか、又は町が国に代わってすべきと思ふが。

答 生活環境課長 当町は除染特別地域になっており、国直轄除染のみが認められています。仮に町が執行しても廃棄物の処分について行き先がない状況なので、国に強く要望していきます。

答 企画課長 特例として残りわずかなところを国としっかり詰めれば良いという提案を前提に、国との話を進めたいと考えます。

答 高野副町長 まず外縁除染を突破口としてスタートさせます。そして帰還を希望する方の土地家を除染すると残りわずかととなり、国と100%目指し対峙しながら臨みたいと考えます。



拠点区域外となっている小良ヶ浜地区

問 小良ヶ浜・深谷地区全体を復興拠点として位置付け、A・B・Cエリア全ての土地を町が買い上げスケールの大きな事業計画を立てるべきと思ふが。

答 企画課長 町が買い上げるとなると単独費となり、町の財政負担を伴うビッグプロジェクトになることが想定されます。国の交付金等々については避難指示解除が大前提となっていますので、解除に向けて国と対峙します。

問 富岡高校の今後についての考えは

答 高等学校の再開は極めて重要な事項として認識

問 平成29年度から休校となっている、富岡高校の現状と校舎の活用を含めた今後について、町の考えは。

答 教育長 福島県教育委員会では、休校となっている富岡高等学校を含む六校について、今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況等を考慮しながら、今後の在り方を検討することとしています。

問 国際研究教育機構の関連施設、参画大学の主要施設として利用できないか。

答 町長 我々としても、もっとしたたかに政策を行うべきと考えますので、一生懸命取り組みます。

答 地域住民の意見も伺い、様々な観点から有効な施策を検討



佐藤 教宏 議員

問 施設等の維持管理費を抑える方策は

答 各施設の改修・更新時期を平準化

問 町の総資産のうち事業用及びインフラに係る有形固定資産の割合が6割を占めている。

答 町長 経常収支比率は前年度より改善されているものの、新型コロナウイルス感染症に係る負担分として、普通交付税が追加交付され、経常一般財源が増加したことによるもので、依然として本町の財政は硬直化しています。しかしながら、公債費は減少傾向にあり、基金も確保されていますので、当面は必要な事務事業を無理なく執行していくことが可能な財政状況です。

問 令和3年度決算から町の財政状況を分析した結果は。

答 町長

経常収支比率は前年度より改善されているものの、新型コロナウイルス感染症に係る負担分として、普通交付税が追加交付され、経常一般財源が増加したことによるもので、依然として本町の財政は硬直化しています。しかしながら、公債費は減少傾向にあり、基金も確保されていますので、当面は必要な事務事業を無理なく執行していくことが可能な財政状況です。

問 今後、人口増加に向けて、夜の森公園やつつみ公園の改修だけではなく、新たに公共施設の建設なども想定されるが、行政が整備し行政が運営する従来の手法ではなく、民間事業者が、自らの資金で建設から管理まで一手に担い、設置したカフェやレストランなどの利益で施設を管理す

答 町長 社会情勢や住民登録の動向により、税金などの経常収入は大きく落ち込む可能性があるので、歳入に見合った歳出となるよう事務をスリム化するなど、メリハリのある予算配分が必要と考えています。新たな建設事業の慎重な検討や各種施設の改修・更新時期の平準化をすることで、更なる維持運営費の低減に努めます。

問 経常収支比率が90%を超える危険水域の中、有形固定資産の維持管理や改修に係る費用を抑えるための方策は。

答 町長

経常収支比率は前年度より改善されているものの、新型コロナウイルス感染症に係る負担分として、普通交付税が追加交付され、経常一般財源が増加したことによるもので、依然として本町の財政は硬直化しています。しかしながら、公債費は減少傾向にあり、基金も確保されていますので、当面は必要な事務事業を無理なく執行していくことが可能な財政状況です。

問 町の方針は全域除染による避難指示解除です。

答 町長 国は特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向け、町民に帰還意向確認をした上で、除染範囲を決め除染を開始することなどが、町が全域除染を求めている中で、帰還意向を示した住民の宅地付近だけを除染して帰還させようとしている国に對しての対応をどうしているのか。

問 国は特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向け、町民に帰還意向確認をした上で、除染範囲を決め除染を開始することなどが、町が全域除染を求めている中で、帰還意向を示した住民の宅地付近だけを除染して帰還させようとしている国に對しての対応をどうしているのか。

問 区域外の土地建物の買上げについて

答 使用目的不明での用地等取得は困難



拠点区域外の住宅

問 様々な課題も指摘されていますが、公共事業のコスト削減と質の高いサービスを提供することを旨とし、活用のための研究及び効果や有用性を検討していきます。

答 総務課長

様々な課題も指摘されていますが、公共事業のコスト削減と質の高いサービスを提供することを旨とし、活用のための研究及び効果や有用性を検討していきます。

問 拠点区域外の避難指示解除を待たず、国による土地や建物の買上げ及び借り上げ等検討させるべき。

答 町長 その上で、除染や解体に着手できることで、早期の全域再生に向けた段階的な取り組みと受け止めています。全域除染による全域避難指示解除の早期実現に向け、残された土地、家屋等の扱いを早急に示すよう要望していきます。

問 小良ヶ浜・深谷地区の皆さんは、今後複数年にわたり自由に立ち入ることもできず、土地建物等利活用できない状況が続くにもかかわらず、所有者が除草などの管理を強いられるのは不条理である。除草は東京電力の除草ボランティアに担ってもらっているが、対応しきれない部分がある。年1回は宅地の除草をしてもらえるよう事業拡大を要望できないか。

答 町長 国を含む行政機関にとって、使用目的を明らかにできない用地取得は、納税者の理解を得ることが困難であり、難しい課題と捉えています。地域住民が土地や建物等を利活用できるよう、避難指示の早期解除を目指します。

問 国や町が個人の財産に入っていくことは困難なことだから、東京電力に範囲や対象など広げていただくよう申し入れしたいと考えます。

答 生活環境課長

国や町が個人の財産に入っていくことは困難なことだから、東京電力に範囲や対象など広げていただくよう申し入れしたいと考えます。

問 福島国際研究教育機構の立地選定の経緯は

答 11項目の審査により決定



渡辺 三男 議員

問 福島国際研究教育機構の立地選定は、どのような経緯で決定したのか。

答 町長

県の、教育や産業などに関わる職員が候補地に関する申請書類や現地確認を行うとともに、自然災害リスク、工事の円滑な実施などの施設整備、交通アクセス、研究分野における連携などの周辺環境等、合計11項目について各自治体から聞き取りを行い、県庁内部で最終選定し国に推薦したと伺っています。

問 福島国際研究教育機構について、富岡町ではどのように関わって行く考えか。

答 企画課長

情報合戦と考えますので、情報網をくまなく広げ、しっかりと努めていきます。

問 今後も、いち早く情報をつかめるよう情報網を緊密にめぐらせてもらいたい。

答 副町長 機構の取り組み5分野の内、原子力災害に関するデータや知見の集積、発信に関する部分には積極的に関わっていくべきと捉えています。また、福島イノベーション・コースト構想において廃炉に関わる部分、廃炉に向けた研究開発に関して、町としても積極的に参画、協力していきたい考えです。

問 本町を含め近隣自治体による連携や協力等の具体的な取り組みについては明らかとされていますが、連携が図れる分野や関わり方を模索しつつ、可能な限り協力することにも、引き続き復興創生に向け尽力します。

答 町長

本町を含め近隣自治体による連携や協力等の具体的な取り組みについては明らかとされていますが、連携が図れる分野や関わり方を模索しつつ、可能な限り協力することにも、引き続き復興創生に向け尽力します。

問 拠点区域外の構想は

答 今後も検討を重ねます

問 帰還困難区域の特定復興再生拠点区域外について検討されている産業団地造成の進捗状況は。

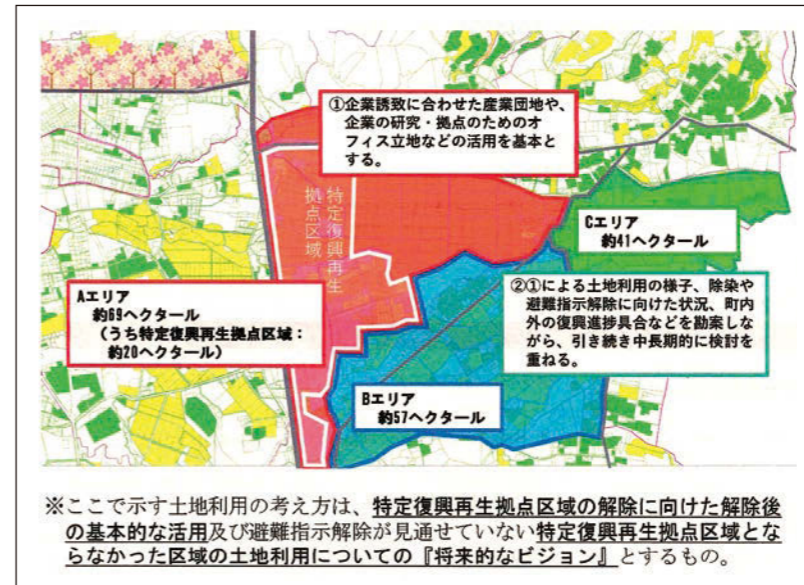
答 町長

現時点では主に小良ヶ浜圃場における産業団地基本構想の作成に向けた準備を進めるとともに、交付金の活用が見込める拠点区域内の産業団地整備に関する国との事前相談や営農再開希望者への聞き取りなどを実施しており、本事業の関連予算を来年度に計上したいと考えています。

問 仮置場の復旧についてはムダな支出とならないよう、環境省としっかり協議の上で除染を完璧に行ってもらいたい。

答 生活環境課長

まずは線量の低減を行い、返地の際には環境省と土地の所有者、町も間



令和4年3月2日開催 全員協議会資料より抜粋

問 拠点区域外について、例えば農業ハウスの電源を全て太陽光発電でまかなう設備を造

に入り、有効な土地利用ができるよう協議します。

答 町長 土地の利活用については、提言のあった太陽光発電やギガ園芸団地など、大きな使い方ができるよう今後もしっかりと検討を重ねます。

るなど、まずは大きな構想を町が先に立ちあげて国へ要望すべきと考えます。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 議事事務局
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 出納室
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 〔所管課〕



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜買い物環境の整備を要望＞

Q 町内進出企業との包括連携協定が結ばれた。夜の森地区への買い物環境の整備に関しても強く要望を。

A 夜の森地区での出店については相談をしていますが、「すぐに」とはいかない状況です。同地区の居住者の増加につながる取組みや環境整備を一方で進めながら、今後も協議を重ねます。



さくらモールとみおか



セブン-イレブンの移動販売車

【企画課】

＜心の復興事業について＞

Q 心の復興事業補助金に関する詳細を。

A 被災者自身が主体的に携わり、住民同士のコミュニティや生きがいを支援する活動を行う団体に対する補助金です。

【住民課】

＜子育て世帯への情報発信の強化を＞

Q にこにここども園のホームページを作成し、入園を検討する保護者等へ情報提供ができるようにしてもらいたい。また、移住定住ポータルサイトにおいてこども園や小中学校のホームページにリンクできるようにして、移住定住を検討している子育て世帯に来ていただけるような環境作りを。

A こども園のホームページについては、今年度予算において作成中です。入園を検討している保護者や、帰還・移住を検討している皆さんが分かりやすいホームページになるよう作成したいと考えます。



令和4年度入園式

【教育総務課】

＜保護者との対話は＞

Q 小中学校の児童生徒が順調に増えて大変喜ばしいことだが、様々生じる保護者の不安等へ寄り添うためにも、学校との対話が必要と考える。懇談会などは行っているのか。

A 現在、授業参観終了後に学年ごとの保護者懇談会や、担任と保護者が一対一で対話する機会なども設け、今年から授業参観は子どもと保護者が一緒に参加する車座参観を実施しています。学校だけでは回答のできない不安等については町関係機関とも連携しながら、保護者の不安解消に努めているところです。



【教育総務課】

＜富岡町の歴史保全に関して＞

Q 資料保全調査に寄せられた資料はどのようなものがあるのか。

A 最近では写真や生活に使っていた民具・文書類が主です。古記録では明治時代から昭和の経済状況が分かるような資料も寄託されています。震災時の資料に関しては曲がってしまった看板や写真等が寄せられています。また、昭和60年代に廃絶してしまった富岡張り子を収集していたコレクターの方から寄贈いただきました。



たくさんの文化財が寄贈・寄託されています



どこか懐かしい富岡張り子

【生涯学習課】

＜感染症対策について＞

Q 二十歳を祝う会の開催に関する新型コロナウイルス感染症対策は。

A これまでの成人式においても様々な感染症対策を行っていたところです。まずは感染症対策の徹底をベースに、状況を見ながら柔軟に考えます。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 健康づくり課
 - 福祉課
 - 郡山支所
 - いわき支所
 - 生活環境課
 - 農業委員会
 - 都市整備課
 - 産業振興課
- 【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜早急な道路の舗装修繕を＞

Q 特定復興再生拠点区域の舗装修繕について、バリケードが外れた部分で修繕されない箇所があるが把握しているか。交通量も多くなっているため安全のためにも早期の修繕を求める。

A 当課において把握しており、早急に対応します。

【都市整備課】

＜解除後の計画に沿った整備について＞

Q 特定復興再生拠点区域が解除になった際に稲作を行いたいという声があるので、農地関係の用排水路の整備も進めるよう要望する。

A 用排水路につきまして、産業振興課等と情報共有しながら進めていく考えです。



環境省による除染が進む農業水利施設(写真提供:環境省)

【都市整備課】

＜新規イベントの継続を＞

Q とみおか・いわきふれあいフェスタ2022は、来場者も多く好評だったと聞いた。来年度以降を望む声があるが、計画は。

A 地域へのPRができたことや、アンケートにおいても来年度の開催を望む声が多数あったこともあり、次年度以降の開催も検討しています。



10月15日に開催されたとみおか・いわきふれあいフェスタ2022

【いわき支所】

＜わんぱくパークのPR方法は＞

Q テレビCMの放映により地域交流館「わんぱくパーク」の土日祝日の利用者が増えたようだが、今後も放映を予定しているのか。

A 今後は作成した動画を使用してSNSの広告や雑誌等への掲載など、別な方面からのアプローチをしていく考えです。また、ホームページ等で空いている時間帯を案内する等、混雑を緩和する施策をとっています。



11月12日の秋祭りも多くの来館者で賑わいました



連日子ども達が楽しく遊んでいます

【福祉課】

＜夜の森公園への桜の植樹について＞

Q 夜の森公園に、既存のソメイヨシノに加えて「はるか」という品種の桜を新たに植樹することのだが、なぜ同品種ではないのか。

A 「はるか」は八重桜の一種で、福島県の復興のシンボルとして各地で植えられています。管理しやすい面と併せて、開花時期がソメイヨシノより一週間ほど遅い4月中旬頃に見ごろを迎えるものです。桜を活かした検討委員会において意見が出され、長く桜の花を楽しんで頂ける期間を設けるため選定しました。

【産業振興課】

＜防災事業について＞

Q 津波浸水想定区域の避難誘導看板についての詳細を。

A 津波避難誘導に係る電柱への巻き立て式の看板で、10月末の時点で20箇所に設置しました。ハザードマップ等と併せて、十分に周知します。



防災パンフレットによる津波浸水想定区域



誘導看板(富岡駅西側)

【生活環境課】

町の重点事業 について徹底議論!!

12月8日開催

11月14日開催

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について

(環境省)



住宅に近接した森林

答 環境省
まず面的に除染をさせていた
ながら、ひとつひとつ丁寧に
個別の場所を見て、その場所
でできる方法で除染させていた
だきたい考えです。

問 特定復興再生拠点区域に
おける空間線量率のマップに
よると、ほとんどが0.23
から1マイクローシールベルトと
なっている。全体の線量を上
げている森林を今後どうする
考えか。(安藤正純)

問 除染について様々な検討
をしていることは承知だが、
すでに解除された区域も含め、
線量が高い箇所については迅
速な除染を行うべきと考え
る。(渡辺三男)

答 内閣府
速やかな現地確認が基本と
考えますので、個別に状況を
踏まえて実施していきます。

問 仮置場の現状回復と返地
の計画について、令和5年度
の回復工事後の空間線量率の
平均値は拠点区域内の農地除
染の実績程度となる見込みと
あるが、現在線量が高い箇所
への対応はしないのか。
(堀本典明)

答 環境省
状態によって様々ですが、
現在、比較的高い箇所につい
ては今年度の工事で追加的に
剥ぎ取りをして線量を下げ
いき、来年度の現状回復工事
の際に客土および耕起するこ
とで農地除染後の数値程度と
なると考えています。

◆町政懇談会における説明内容について

(企画課 他関係各課)



問 空間線量率のグラフを見る
と森林の線量が高い。解除に向
けての対策は。(遠藤一善)

問 緊急通報システム貸与につ
いて、通報はどのような経路か。
(宇佐神幸一)

問 拠点区域に隣接する土地の
地権者から除染の要望が出てい
る地区について前進は。
(渡辺三男)

問 検討中の早期帰還移転補助
金について、補助の基準などしっ
かり策定を。(安藤正純)

答 企画課
範囲に含まれない部分があ
るのが現状ですが、個人の意向を
尊重し、範囲を広げられるよう
継続的に取り組みます。

答 住民課
平成29年度の際の事例と差異
が出ないよう踏襲します。

答 都市整備課
可能かどうか検討し、随時対
応します。

問 希望があった際に防犯灯な
どの箇所を追加する考えは。
(佐藤啓憲)

答 福祉課
利用者がボタンを押すことで
契約している会社に繋がり、そこ
から必要な機関に繋がる仕組み
です。また、利用者の身体状況
等を把握しているため、スムーズ
な対応ができるものです。

◆放課後児童クラブ施設整備計画の一部見直しについて (教育総務課)

【11月14日】

問 救急車乗り入れの場所が2箇所あ
るが、利用の想定は。(遠藤一善)

答 教育総務課
消防本部から助言をいただいた上で、
玄関側・駐車場側どちらからでも入れ
るよう想定しています。

問 駐車場における安全対策を強く要
望する。(渡辺三男)

答 教育総務課
広さを確保しつつ、緑地帯を設けて一
方通行で利用いただくよう考えていま
す。

問 運営体制は。(渡辺正道)

答 教育総務課
現在、旧富岡第二小体育館の児童クラ
ブと同様の業者による運営となります。
今後の利用者数の増加を含めて、細やか
な協議を行います。

問 多目的ホールの使用目的を事業計
画によって明確に持たせるべき。
(佐藤教宏)

答 教育長
基本的に運動でもイベントでも使える
よう多目的ホールとしています。学校の
校庭やわんぱくパークの利用も併せ、事
業者とも長期の運営の考えをしっかりと共
有します。



【12月8日】

問 多目的ホールの面積が大幅に増加
しているが、全ての子どもを対象とし
ている放課後子ども教室とすることで
定員数を増やせるなど、充実が図れる
と考えるが。(佐藤教宏)

答 教育総務課長
子ども達が体を動かすことに加え、
地域の方を迎えた活動の中で、参加人
数や事業内容により、施設内の子ども
教室では行えない部分について多目的
ホールを使っていきたい考えです。

△要望▽
ひとりでも多くの子どもが富岡町に来
てくれるような教育環境の整備を。
(渡辺三男)

1学年1クラスの学年ができ喜ばしい。
今後もクラス数が増やせるよう、華美
になり過ぎることなく、必要な部分へ
の適正な予算配分を。(遠藤一善)

復興へのあゆみ Step.27

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2022.10.29 富岡小中学校【永桜祭】 富岡の絆で心を一につに ~一人一人が輝く舞台へ~

統合後 初めての永桜祭が開催され、生徒の作品の展示や各種発表等が披露されました。劇やダンス、太鼓の演奏等に加え、生徒が編集した動画など多種多様な発表があり、会場からは感嘆の声が上がる場面も見られました。



2022.11.12 富岡えびす講市

えびす講市が3年ぶりに開催され、大勢の来場者で賑わいました。また、町内各所で福祉まつりやわんぱくパークの秋祭り、グラウンドゴルフやウォーキング、小中学校の体育館では作品展なども開催され、富岡町全体が活気に満ちた一日となりました。



2022.12.1 ~2023.1.9 YONOMORIまち灯り2022 イルミネーション

12月1日に点灯式が行われ、富岡第二中学校跡地及び桜並木がイルミネーションで彩られました。



【ダストの監視方法は】



渡辺正道議員

福島第一原子力発電所構内での作業にあたって、ダストの飛散に対する監視方法は。

発電所構内にダストモニタという監視装置を複数箇所設置しており、ダスト濃度に変化がないことを常時、連続的に監視をしています。



東京電力HD(株)

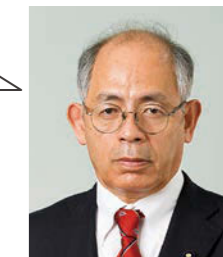
【風評被害の詳細な判断基準は】



東京電力HD(株)

ALPS処理水放出に伴う風評被害の賠償について、観光業関係など、売り上げを判断する基準が出ない場合も多いと思われる。個別の詳細な基準を作成する考えは。

当社において統計データなどの活用によって風評被害を推認した上で、個別のご事情を丁寧にお伺いし、広い観点から多角的に対応していきたい考えです。



宇佐神幸一議員

【風評被害への幅広い対策を要望】



遠藤一善議員

ALPS処理水放出に伴う風評被害の賠償について、売り上げだけでなく、物流等の間接的な費用にも対応すべき。また、どのような風評被害が考えられ、どのような申請が必要になるのか、事前に詳細を公表してもらいたいと考えるが。

間接的な費用にも対応する考えです。また、事前の準備が重要と認識しており、風評被害の対応も最大限出来得る準備をしていく考えですが、どのようにお示しできるかは検討します。



東京電力HD(株)

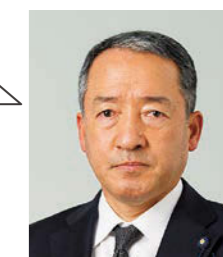
【更なる安心のための設備を要望】



東京電力HD(株)

福島第二原子力発電所に設置される使用済燃料の乾式貯蔵施設について、想定する使用期間は。また、施設から排出される、崩壊熱により暖められた空気線の量をリアルタイムで測定できる設備を要望する。

廃止措置期間44年の間に国のライセンスを持った事業者へ燃料を譲り渡しますので、施設の寿命は40年程度を想定しています。また、施設内には温度計と圧力計を設置することとしており、線量計の設置等も今後検討します。



安藤正純議員

ちひとと

みなさまの声

Q. 20歳を迎えた感想は？

A. 式を迎えるまでは二十歳を迎えた実感はなかったのですが、町長様からの式辞や議会議長様からの祝辞をいただいた際に自分の主張をしっかり持つことや、広い視野を持つこと、社会へ対する責任などを再度確認することで、改めて気が引き締まり実感を持つことができました。

Q. 20歳を迎え、まずやってみたいことは？

A. 地元の友人や避難先で仲良くなった友人と自分の趣味や中高生の頃の話をしてお酒を飲みたいです。特に被災した頃から会えていなかった友人と再会することもできたのでお互いの都合が合う時に富岡町で飲み会ができたらなと思っています。

Q. ふるさと富岡での思い出で、心に残っていることは？

A. 1番印象に残っている事は、住んでいた地域で行われていた麓山の火祭りです。中学生の頃の地域研究の学習の時も、研究テーマになっており、2019年の夏には富岡町や上手岡の方々のご協力のもと開催することができたので印象強く残っています。また、避難する前は毎年父と兄が登っていたのでその光景も覚えています。

Q. 富岡の復興のために、何が必要だと思いますか？

A. 私が思う富岡町の魅力は、自然豊かで山や海に囲まれており、特産物にも恵まれている町だということです。しかし、交通の利便性や、ネット環境の普及などがまだあまり行われていないので、若者を街に呼び戻すためには環境の整備が必要になってくると思います。

Q. 将来の夢はなんですか？

A. 私は将来自動車整備士になりたいと考えています。そのため今は自動車について学べる学校で勉強に励んでいます。将来的には富岡町で地域の方々に寄り添えるような、そんな自動車整備工場を作れたらいいなと考えています。



二十歳を祝う会
実行委員長
遠藤雅也(えんどうまさや)さん

【経歴】

- 富岡第二中学校 三春校 卒業
- 学校法人 尚志学園 尚志高等学校 卒業
- WiZ国際情報工科 自動車大学校 在籍

議会を傍聴しませんか？

- 3月定例会は、9日(木)～15日(水)の会期で開催する予定です。
 - 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
 - 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
- 議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



新年あけましておめでとう
ございます。

表紙は、二十歳を祝う会の一コマです。震災当時小学二年生だった皆さんは、富岡町での思い出は少ないと思いますが、二十歳を祝う会に出席していただいた事は、町の未来に大きな希望となります。今春には、復興再生拠点地域の避難指示解除が予定されており、今後議会では除染の状況を確認し、国、関係機関に必要な要望をしてまいります。今回の議会報は十二月定例会の内容を中心に掲載し、町民の皆さんに議会活動をお伝えできるよう編集しました。

(堀本 典明)

編集後記

発行責任者

議長 高橋 実

議会広報特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

